

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-524036 (P2004-524036A)

【公表日】平成 16 年 8 月 12 日 (2004.8.12)

【年通号数】公開・登録公報 2004-031

【出願番号】特願 2002-574755 (P2002-574755)

【国際特許分類第 7 版】

A 2 3 G 3/30

A 6 1 K 9/68

A 6 1 K 31/465

A 6 1 P 25/34

【F I】

A 2 3 G 3/30

A 6 1 K 9/68

A 6 1 K 31/465

A 6 1 P 25/34

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 11 月 16 日 (2004.11.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

チューインガムを調製する方法であって、混合装置内にすべてのガムベース成分およびすべてのチューインガム添加剤を適当な順序で仕込み、その装置を大気圧の下で稼働させてチューインガムを得る方法。ただしガムベースは実効チューインガムポリマーとしてビニルポリエステルだけを含むことはなく、混合装置の稼働中にチューインガム混合物の温度が約 60 を超えることはない。

【請求項 2】

混合装置の稼働中にチューインガム混合物の温度が約 48 ~ 55 を超えない、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

少なくとも 1 種のガムベース成分が環境中で分解するまたは生分解されるポリマーである、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

ガムベースのすべてのポリマー化合物が環境中で分解するまたは生分解されるポリマーである、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

環境中で分解または生分解可能なポリマーがポリエステル、ポリカーボネート、ポリエステルアミド、ポリペプチドおよびタンパク質から成る群から選択される、請求項 3 または 4 に記載の方法。

【請求項 6】

少なくとも 1 種のガムベース成分が非分解性ポリマーである、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 7】

ガムベースのすべてのポリマー成分が非分解性ポリマーである、請求項 6 に記載の方法

。

【請求項 8】

非分解性ポリマーがポリイソブチレン、イソブチレン - イソプレンコポリマー、スチレン - ブタジエンコポリマー、ポリビニルアセテート (PVA)、ポリイソプレン、ポリエチレンおよびビニルアセテート - ビニルラウレートコポリマーから成る群から選択される、請求項 6 または 7 に記載の方法。

【請求項 9】

バッチ混合方法である、請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 10】

混合装置がシグマブレードミキサーおよびエクストルuderから成る群から選択される、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

連続法である、請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 12】

得られるチューインガムが小片に形成され、前記小片がコーティングされる、請求項 1 乃至 11 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 13】

コーティング前の小片が少なくとも 1 層の水分不浸透性物質でプレコートされている、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】

ガムベース成分および / またはチューインガム添加剤が薬剂的または生物学的に活性な物質を含む、請求項 1 乃至 13 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 15】

薬剂的または生物学的に活性な物質がニコチンである。請求項 14 に記載の方法。

【請求項 16】

請求項 1 乃至 15 によって調製されたチューインガム。